

リモート形式で総会を開催 広島県鉄構工業会(組合員数79社)



広島県鉄構工業会(理事長 山本泰徳・ステントス)

認識のもと、①人材の確保・育成②技術の開発・向上③青年部のさらなる活性化④ファブの社会的認知の確立⑤県内支部活動の一層の充実——の5項目を重点とする事業案を決議した。

社長)は5月25日、新型コロナウイルス感染症防止のため、書面議決の上、三役によるウェブを活用したリモート形式により通常総会を開催した。今年度はコロナ禍対策に取り組み、各種行政支援策情報の提供と同時に適正価格の確保を重視するという

山本理事長はコロナ禍継続によるファブ業界への影響に懸念を示した上で「需要低迷下では、焦った受注により高騰している鋼材価格の転嫁ができず大きな損失が生じるため、慎重な対

応が重要となる。今後も最新情報を提供していくので、この状況を乗り切ってほしい」と述べた。

